

～ロゴマークの由来～

背後の“A”は、阿倍野区の象徴であるハルカスのシルエットを阿倍野区の頭文字であるアルファベットの“A”にかたどったもの、小文字の“a”は、街の中心部を繋ぐ重要な歩行者施設である阿倍野歩道橋を上空からみた形をシルエットにしたものです。

この歩道橋には、市民の「行きたい場所をスムーズに結び、歩を進めるごとに変化することを楽しめる」という思いが込められています。

また、阿倍野（abeno）の頭文字として広く認知され、始まりの文字である“a”は、「街が始まる、1日が始まる出発点となり、ここを目指して人々が集まる・動き・何かが生まれる」という活動の起点を形としてデザインされたものです。

ロゴマークのカラーは、阿倍野区の花である“ペチュニア”のカラーから選びました。

私たち阿倍野区理学療法士会も、区民の皆様の生活（保健・医療・福祉）を支えるべく、そして楽しめる1日1日を過ごして頂けるように、また、そこに関わるあらゆる職種の人たちと協働していく、繋がりを大事にするという思いが、正に阿倍野歩道橋に込められた思いと一緒にすることから、このロゴマークを作成しました。

2019年10月1日

阿倍野区理学療法士会 理事会一同



あべのハルカス



阿倍野歩道橋